

風土記の丘の花だより¹⁷⁷

今、そしてこれから見られる植物(2023年3月18日)

これを書いている今日は3月14日、ソメイヨシノに先がけてオオシマザクラとヤマザクラが開花しています。そして前号で予告しましたハクモクレンが今まさに満開です。これをご覧になるころにはどうなっているでしょう。そろそろコブシが見頃になっているのでしょうか。そしてソメイヨシノの開花宣言もなされているのでしょうか。



この写真がその日のハクモクレンです。空の青と花の白が互いを際立たせているようです。ハクモクレンは開花の期間が短いので、鑑賞するタイミングが難しいですね。よく歩きに来られる方は美しい花をご覧になれますが、たまにしか歩きに来られない人にとって、この花の満開に当たったら、それはラッキーとしか言いようがないでしょう。ここから、少し上って行き梅園を過ぎたころの左側に少しピンクがあった同じ仲間のシデコブシも咲いていますが、これもこれをご覧になる頃には・・・・・。



万葉植物園でシナレンギョウが咲いています。レンギョウには何種類かありますが、公園などにはこれが多く植えられているように思います。枝が垂れずにまっすぐに伸びます。そして枝の中には写真のようにハシゴみたいな段々があって細かく区切られています。興味のある方は、枝をチョット拝借して中を確かめてみてください。



ヒサカキの花の香りが漂ってきました。私はどちらかというが好きですが、とても嫌う人もいます。まあ、人は人、とやかく言わないでおきましょう。雌雄異株でそれぞれに雌花と雄花が咲きます。今、両方咲いていますが、写真は雄花です。中をのぞくとおしべがいっぱい見えます。といっても3ミリあるかなしの小さな花ですから、ちゃんと見えるでしょうか。これはこのあたりではビシャコと呼び、お墓参りには欠かせない木です。そろそろ春の彼岸ですね。



上にもチョコっと書きましたが、ヤマザクラが開花しました。毎年、ほかのどの木より先に咲くヤマザクラが、梅園を過ぎて少し歩いた右側にあります。どれも同じ時期に咲いて同じ時期に散るソメイヨシノと違って、ヤマザクラには株ごとに個性があります。開花の時期や、若葉の色や形などが株によって異なります。これから、ソメイヨシノ、エドヒガン、オオシマザクラなども咲き始め、風土記の丘は一気に華やかになります。ヒノキの花粉も飛びはじめるでしょうが、楽しい山歩きを満喫してください。(なお、次の178号の発行は、

都合により3月24日(土)の午後からになりますので、ご了承ください。

松下